事	業番号	05 02 45	事業改善シート(25年度実施事業分)	口予算:	要求	口当初予算	案 口補正予	算案 I	■点検
事	業名	地域医療再生事業(三次分)				部局	健康福祉部		
7	未 口	地域区原代工事来(二八万)			担当	課∙室	医療推進課		
<i>4</i> /\	\ - 4. - -	プロジェクト 4-4-1 健康づくり・医療充実プロジェクト			課	E-mail	irvo@pref.nagano.lg.ip		
総合計画	う5か年 ii	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり						
ш	4	旭泉の松石の展開	4 医療施策の充実		DIA	実施期間	H25	\sim	H27

1 事業の概要

- ○南海トラフ巨大地震による甚大な被害が想定されている、臨海及び大都市圏からの傷病者を県内に救護・搬送する体制の整備並び に、災害拠点病院を中心とした傷病者の受け入れ体制・診療支援体制の整備・充実
- ○多職種の専門性を尊重したチーム医療の展開による、在宅医療提供体制の整備・充実 目指す姿 ○医師、看護人材確保対策の強化
 - ○木曽、大北、北信の各医療圏における、医療提供体制の整備・充実

現状

- ○航空搬送拠点臨時医療施設(SCU)の具体的な設置場所が未決定であるとともに、資機材及び保管庫の整備が十分でない。
- ○在宅医療の推進に必要な、多職種による連携体制の構築、高齢化の進展などによる様々な医療を必要とする者の増加に対応する、在 宅医療提供体制の充実が必要
- ○医師及び看護人材の不足
- ○木曽、大北、北信医療圏では流出患者割合が20%を超えている。

県が関与 する理由

事業内容

県でなければ実施不可(その他)

【左記の説明、根拠法令等】

厚生労働省「地域医療再生臨時特例交付金交付要綱」

県民との協働による実施: 困難

① 成果目標(H25)

平成25年に策定した地域医療再生計画に基づき、災害時の医療体制及び在宅医療提供体制の整備、医療人材の確保並びに、患 者流出率の高い医療圏の医療提供体制の整備などを図る。

事業内容

(単位:千円)

り					(=	₩ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
項目	実施方法	H25事業実績		Н	H26	
(大口)	美 胞万伝	TZ5爭未天順		(当初)	(決算)	(当初)
地域医療再生計画(三次分)補助金		災害時の医療体制及び在宅医療提供体制の 護人材確保対策の強化、二次医療圏の医療提	0	318,050	344,675	
地域医療再生基金の積み増し	直接	国補助金を基金に積み増し	0	1,350,000		
地域医療再生基金の運用	直接	補助金として支出するまでの間、基金を適切に管理運 用		0	505	203
	-		合計	0	1,668,555	344,878

	区 分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度	
	1		前年度繰越				287,290
	予質		当初予算				344,878
事	算額		補正予算			2,059,920	
業			合計(A)	0	0	2,059,920	632,168
\			国庫支出金			1,350,000	
コ	AO.		県 債				
7	財派	京	その他(繰入金、財産収入)			709,920	632,168
ス			一般財源	0	0	0	0
7	決		草 額(B)			1,668,555	
	概		職員数(人)			0.60	0.20
	人作	‡費	概算人件費 (C)	0	0	4,955	1,652
	概算事業		業費(B(A)+C)	0	0	1,673,510	633,820
			•				

成果目標の達成状況								
項目	H24末		H26					
次日	(実績)	目標	成果	達成状況	目標			
要望に対する補助実施数	_	32/32件	32/32件	達成	_			
事業進捗率 (執行額/計画額)	_	66. 80%	68. 70%	達成	84. 80%			
非常用自家発電装 置機能向上施設数	_	12/12施 設	5/12施 設	未達成	I			
在宅医療連携拠点 設置医療圏数	_	4/10医 療圏	4/10医 療圏	達成				
在宅医療連携拠点事 業の継続実施	_	ĺ	Į	ĺ	5箇所			

目標に対 する成果 の状況

平成25年に策定した地域医療再生計画に基づき、災害時の医療体制及び在宅医療提供体制の整備、医療人材の確保並びに、患者流 出率の高い医療圏の医療提供体制の整備などが図られた

非常用自家発電装置については、消費税増税前に全国的に工事が集中したことにより設備機器の確保が遅れたため、平成26年度に繰り 越したことにより機能が向上した施設数が目標を下回った。

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか。

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

引き続き、基金が有効に活用され、地域の医療課題の解決に結びつき、十分な事業効果が発揮されるよう、計画の実現に向け関係機関 との連携・調整に努めていきたい。